（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	喜納　育江	所　属	国際沖縄研究所	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	①　法文学部英語文化科目：英語講読演習上級（共通），昼間主アメリカ文学概論、夜間主アメリカ文学概論、ライティングI、夜間主アメリカ文学研究（後期予定、卒論指導（通年）2名; ②人文社会科学研究科5科目：国際言語特別演習III/IV、アメリカ女性文学演習、修士論文指導1名（博士前期）; 総合演習（博士後期）; ③環境副専攻前／後期それぞれ1科目TMティーチング	0.30	目標欄に挙げたすべての科目を担当し、十分に教育面での責任を果たした。また、博士後期課程の論文指導教員資格審査を受け、来年度から博士後期課程の論文指導教員になることが決定した。
研究	0.25	①文科省特別経費プロジェクト「沖縄ジェンダー学の創出」の運営実施; ②マイノリティアメリカ人文学研究（基盤研究C：初年度）; ③交感論研究（基盤B：研究分担）; ④その他。以上の研究プロジェクトそれぞれに関し1件ずつ成果論文（または翻訳）を発表する. ⑤文学・環境学会副代表。	0.15	目標欄に挙げたすべての研究を進めることはできたが、それぞれに関し1件ずつ成果論文または翻訳を発表するという点については、十分な時間を確保することができずに1件しか達成できなかった。一方で、ニュージーランド・オタゴ大学の国際会議での基調講演、文学・環境学会での口頭発表、琉大とハワイの合同シンポジウムでの発表など、口頭発表はいくつか行った。
社会貢献	0.10	①地域社会からの協力依頼（翻訳事業、派遣留学等審査員）には積極的に対応するようにする; ②日本学術振興会科学研究補助金1次審査員; ③一般財団法人「竹村和子フェミニズム基金」理事・審査員	0.15	①に関しては沖縄県高校英語スキットコンテスト審査員やひめゆり平和資料館の翻訳業務などで貢献できた。ひめゆり資料館においては、10月に行われた「平和研究会」の講師を務めた。②と③は目標欄に挙げたとおり行った。また、地元紙に数回執筆した（復帰40年企画、学内イベント告知文など）ほか、『図書新聞』に沖縄の小説についての書評が掲載された。
管理運営	0.25	①国際沖縄研究所運営; ②IJOS編集委員; ③地域貢献推進委員; ④ 法文学部英語文化専攻オープンキャンパス・広報委員; ⑤人文社会科学研究科運営委員; ⑥その他、大学の要請には可能な限り対応する。	0.30	目標欄に挙げたすべての役割を果たした以外に、前期は学振のリーディング大学院プログラムの申請でプログラムコーディネーターとして尽力した。（学振でのヒアリング実施まで到達したが、結果は不採択。）また後期はJST女性研究者支援事業により本学男女共同参画室内に設置された「うない研究者支援センター」のセンター長としてセンター発足の業務に従事した。
進路指導	0.10	① 法文学部国際言語文化学科英語文化夜間主3年次指導教員; ② 卒論指導2名; ③修論指導1名; ④その他、学生から要望のある進路相談には出来る限り対応する。	0.10	目標欄に挙げたとおりに実行した。修論指導をした学生はOISTの事務要員としての就職が決定した。その他、学生からの要求に応じて留学や奨学金へ応募するための推薦書を書いたり、学生から進路、学業、その他の相談のための個人面談の要求にはすべて応じた。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	藤田陽子	所　属	国際沖縄研究所	職　名	准教授 8月1日付で教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	・開講前に提示したシラバスに沿って授業を実施する. ・昨年度の授業評価アンケートにおける指摘事項を踏まえて授業改善を図る. ・学期末に授業評価アンケートを実施する. ・「環境学副専攻」構成員として同副専攻における教育を行う.	0.30	・開講前に提示したシラバスに沿って授業を実施した。 ・昨年度の授業評価アンケートにおける指摘事項を踏まえて、学生同士のディスカッションの機会を設けるなど、授業改善を図った。 ・対象となる全ての科目において授業評価アンケートを実施した。 ・「環境学副専攻」への科目提供や副専攻運営などを通して、構成員としての役割を果たした。
研究	0.50	・特別経費プロジェクト「新しい島嶼学の創造」のコーディネート及び研究を行う. ・科研費補助金基盤研究（B）「米軍基地による環境変化が与える自然および社会への影響に関する複合的研究」の研究代表者として、調査・研究を行う。 ・研究成果をもとに論文を執筆する. ・SATREPS研究課題「サンゴ礁島嶼系における気候変動による危機とその対策」の一員として調査・研究を行う。 ・連携融合プログラム「人の移動と21世紀のグローバル社会」太平洋島嶼研究班メンバーとして関連する調査・研究活動を実施する. ・生活経済学会理事として学会運営活動に携わる.	0.55	・特別経費プロジェクト「新しい島嶼学の創造」のコーディネーターとして、国内外の島嶼関連研究者を招聘して計7回の研究集会を実施し、学術的連携を拡充した。 ・ハワイ大学との合同シンポジウムでの報告に基づいた論文を「国際琉球沖縄論集」に投稿した。 ・科研費補助金基盤研究（B）「米軍基地による環境変化が与える自然および社会への影響に関する複合的研究」の研究代表者として、韓国現地調査を含む研究活動を行った。 ・SATREPS研究課題「サンゴ礁島嶼系における気候変動による危機とその対策」の一員として、3回のパラオ訪問調査を含む研究活動を行った。 ・連携融合プログラム「人の移動と21世紀のグローバル社会」太平洋島嶼研究班メンバーとして、国際シンポジウムに国内外の研究者2名を招聘し、島嶼研究に関する連携関係を拡充した。 ・生活経済学会理事として学会運営活動に携わった。
社会貢献	0.05	・琉球大学教員として就任している内閣府や沖縄県所管の審議会・委員会等委員としての職務を遺漏なく遂行する.	0.05	・内閣府沖縄振興審議会、沖縄県振興審議会、同環境審議会、同自然環境保全審議会、同景観形成審議会、等の委員として、大学での本務に支障のない限りにおいてその職務を遂行した。
管理運営	0.10	・国際沖縄研究所の運営および所内各委員会委員としての業務を遺漏なく遂行する. ・研究推進戦略会議委員，管理運営に関する自己点検・評価委員会委員としての職務を遺漏なく遂行する. ・その他，学内委員等に着任した場合はその職務を遺漏なく遂行する.	0.10	・国際沖縄研究所の運営および所内各委員会委員としての業務を滞りなく遂行した。 ・研究推進戦略会議委員、管理運営に関する自己点検・評価委員会委員、ESD検討ワーキンググループとしての職務を遺漏なく遂行した。
進路指導	0.05	・法文学部（経済学専攻）併任教員として、必要に応じて専攻学生の進路指導・相談に対応する。	0.00	・現所属部局には学生・院生が在籍しておらず、また、経済学専攻において担当しているゼミの受講生もいなかったため、進路指導の対象となる学生がいなかった。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1。00となるよう、記載してください。